

# 大腿動脈(SFA)用 スtent

## 治療開始のお知らせ



2013年1月よりテルモ社製のステント Misago が使用可能となりました。これは国産では初めての大腿動脈用のステントです。大腿動脈の過去の治療では、バルーン拡張のみを原則としていました。どうしてもステントが必要と判断された場合、腸骨動脈(骨盤内の動脈)用のステントを代用せざるを得ませんでした。長期的にはステントが折れたり、血管が詰まる事もありました。このステントはねじれに強く、折れにくい構造になっています。昨年発売された、DES とは異なり内膜の増殖を抑える薬はコーティングされていませんが、より柔軟なステントです。大腿の動きに追従する事で折れ曲がりを防ぎ、閉塞率がかなり低く抑えられています。抗血小板薬の投与を控える事が出来るのもメリットです。

このステントも昨年の PTX と同様に、PMDA から最初の 250 症例に対し全例の市販後調査が義務付けられています。このため、この期間はすべての病院で治療が開始されるわけではなく、全国から選ばれた約 100 施設のみで治療を行うことができます。

住友病院は今回もこの施設に選ばれており、市販後調査にご協力いただければ、2 種類のステントの中で、より適当なステントを選択し、すぐに治療を行うことができます。

受診希望される方は

住友病院 心臓血管外科 まで TEL (代) 06-6443-1261